

コベルコ地域社会貢献基金

～ 2023年度の取り組み ～

KOBELCOグループで取り組むCSR活動を紹介していく、「KOBELCOのネオハルアクション」がオープンしましたのでご覧ください。
<https://neoharu.kobelco.co.jp/>

コベルコ地域社会貢献基金は、神戸製鋼創業100周年を機にスタートし、2023年度で18年目となりました。今回も未来を担う子どもたちを対象に、16の事業所（グループ会社含む）が子育てに関わる施設や団体へ遊具や学習道具などを寄贈しました。この活動はグループ企業理念「KOBELCOの6つの誓い」のうち、「地域社会との共生」を体現するものです。2023年度の取り組みについて、各事業所・各社から支援先の声などを寄せていただきましたので紹介します。



コベルコ地域社会貢献基金の活動は、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」の実現にもつながっています。



乳児院より

神戸製鋼・神戸本社

乳児院へベンチテーブルやホームベンチ、母子ホームへタブレット型パソコンを寄贈

いただいたテーブルを子どもの居室に出したら、さっそく「新しいん？ ピカピカやん!!」とうれしそうなお顔を見せていました。子どもたちの笑顔は私たちが笑顔にしてくれます。感謝して、大切にしていきたいと思います。



保育所より

神戸製鋼・西条工場

保育所、幼稚園へスクーター、三輪スクーター、とびなわ練習台などを寄贈

このたびはご寄付をいただき、ありがとうございました。使っていたものが古くなっていて、買い替えを考えていたところだったので、新品のスクーターに子どもたちも大喜びです。本当にありがたく、毎日楽しく使わせていただいています。



児童養護施設より

神鋼機器工業

児童養護施設へ園行事やイベント用のテーブルを寄贈

テーブルを寄贈いただきありがとうございました。毎年恒例のクリスマス会を12月25日に開催し、いただいたテーブルにたくさんのご馳走を並べ、子どもたちは楽しいひと時を過ごされました。



学童保育より
保育園より

神戸製鋼・高砂製作所

学童保育へタブレット型端末などを、保育園へバランス平均台や遊具一式を寄贈

学童保育ではITツールを活用した教育を推進しているため、ご支援いただいた教育用タブレット等で、効果的に学習を進めることができます。児童が自主的に学び、より有意義に放課後を過ごせるようになりました。

保育園では、芝生の園庭を新設し、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境整備を進めています。身体能力や集中力育成に効果があるバランス平均台と遊具一式をいただき子どもたちが楽しんでいる様子が見られます。



東灘区の図書館より

神戸製鋼・神戸線条工場

灘区：子どもの居場所づくりに取り組む団体へ食材費や学習教材購入等
東灘区：地域の図書館へ児童書とブックワゴンを寄贈

子どもたちに本との出会い、喜びを伝えていきたいと願っています。小さな子どもたちが自分で本を手にとったり、職員がおはなし会やイベントなどで本を紹介したりできるように、ご支援いただいたワゴンを活用し、本を多くの子どもたちに手渡ししていきたいと思っています。

ジャパン スーパーコンダクタ テクノロジー (JASTEC)

図書館へ科学系電子書籍を寄贈

2021年4月に全国初となる子ども向け電子書籍の図書館をオープンしましたが、電子書籍の取り扱いが始まったばかりで、まだまだ蔵書は多くありません。電子書籍ならではの内容で子どもの科学に関する学習の機会につなげることができています。



茨木市青少年野外活動センターより

神戸製鋼・長府製作所

総合支援学校など2カ所へ発達支援用品、生活用品を寄贈

子どもたちの成長や発達の手助けになればと、手足が不自由な子どもにも「目線入力」ができる機器と、書架を寄贈しました。子どもの数が減少している一方で、支援学校に入学する子どもは毎年増加傾向であり、さまざまな物品が必要になるとのこと。子どもたちが喜んで利用している姿を見ることができ、意義のある活動ができたと思います。（総務室 崎原 成美）



茨木市青少年野外活動センターより

神戸製鋼・茨木工場

茨木市青少年野外活動センターへキャンプ用焚火台を寄贈

キャンプでは家族だけの空間がなくて、「日常でこんなゆったり2人で話す機会がなく新鮮だった」など参加した子どもたちに非常に好評でした。今後はナイトプログラム以外にも、子どもたちが気持ちを伝えることができる環境づくりに焚火台を活用していく予定です。



神戸製鋼・藤沢事業所

子育て支援センターへ大型絵本、消毒セット、砂場ミニカーセットなどを寄贈

藤沢市が掲げている「みんなで子育て」に少しでもお役に立ちたいと思い、玩具等を寄贈しました。

贈呈式には藤沢市長と共に地域の親子たちも参加。市長からは感謝状を、保護者の方々からは直接感謝の言葉をいただき、この取り組みの意義を感じる機会になりました。（総務室 長野 夕起子）



神戸製鋼・真岡製造所

児童養護施設へ緊急用発電機・防災品格納庫を寄贈

支援先は養護を必要とする2歳から18歳が入居する施設で家庭に代わる場所です。ここで暮らす子どもたちは、特に非常時の停電に不安を感じていたため、緊急用発電機と防災品格納庫を寄贈しました。支援先から「助かりました、ありがとうございます」との声をいただきました。（総務室 橋本 力）



いなべ市社会福祉協議会より

神戸製鋼・大安製造所

いなべ市社会福祉協議会へ子ども食堂に必要な調理器具等を寄贈

子どもたちが大好きな揚げ物の調理に苦勞していましたが、フライヤーをご支援いただき喜んでいました。大量の洗い物も食洗機のおかげで負担が減り、大変助かっています。



ボランティア団体より

コベルコ・コンプレッサ

障がい児支援団体へイベント用備品・施設利用料など、ボランティア団体へ環境教育資料等の印刷費や材料費などを寄贈

播磨町の小学3年生を対象に行った環境教育・喜瀬川探検で支援金を活用させていただきました。子どもたちから「生き物や人間、動物などいろいろある命の大切さが分かりました」「自然の生き物が命を落とすことがないように大切にしたい」「播磨町の川のことをもっと知りたい」など、感想が寄せられました。



神鋼造機

小学校へ図鑑を寄贈

インターネットの普及により本を読まない子どもが増えていると聞きます。図鑑を手にとって読んでもらうことで学習意欲の向上に役立ててほしいです。小学生から「これからもたくさんの本を読みたいです」「図鑑を読んで楽しかったです」などのメッセージをいただき、とてもうれしく思います。（総務室 山田 杏奈）



社会福祉協議会より

神戸製鋼・神戸総合技術研究所

西区社会福祉協議会へ子ども向け木製玩具を寄贈

松の木を使った軽くて丈夫な玩具で、幼児から小学生まで幅広い年齢の子どもたちが遊べます。「たくさんあるからみんなで遊べて楽しい」「みんなでどれだけ高く積めるか競争したのが面白かった」と喜んで遊んでいます。



子育てプラザより

神戸製鋼・加古川製鉄所

子育てプラザへ、パーテーションや遊具などを寄贈

乳幼児用スペースを利用した保護者から、パーテーションはよちよち歩きやハイハイの子どもでも安心して遊ぶことができると大変好評です。森にいたようなワクワクするスペースになり、お兄ちゃんたちも外から声をかけて遊んだりして、子どもの遊びの幅も広がりました。子育て中の方々が利用しやすい環境づくりにつなげていきます。



放課後等デイサービスより

神戸製鋼・福知山工場

放課後等デイサービスへ見守り用カウンター、椅子を寄贈

自立課題や創作活動などに、子どもたちと活用しています。空間をカウンターで囲むことにより、子どもたちにとって安全に遊べる場所が確保でき、支援者にとっては安心して見守ることができる環境となりました。